

開催日	催し物名・観覧時間	入場方法	主催者(問い合わせ先)
10月	9/26(火)～ 1(日) マック展 観覧時間:10:00～18:00(初日は13:00から、最終日は17:00まで)	第1・2展示室 無料	三鷹アートサークル 0422(37)0451 山中
	4(水)～ 8(日) 歌人玉城徹の文学活動 観覧時間:12:00～17:00(最終日は16:00まで)	第1展示室 無料	玉城徹の活動展の会 070(5086)5648 遠山
	3(火)～ 8(日) 井の頭シャッタークラブ 第26回写真展 観覧時間:11:00～18:00(初日は13:00から、最終日は15:00まで)	第2展示室 無料	井の頭シャッタークラブ 0422(46)1086 畑
	17(火)～ 22(日) 第6回墨海展 観覧時間:11:00～17:00(初日は13:30から、最終日は15:00まで)	第1展示室 無料	墨海会 090(5498)8682 海野
	17(火)～ 22(日) 第3回 PHOTO「結」写真展 観覧時間:11:00～18:30(初日は13:00から、最終日は16:00まで)	第2展示室 無料	PHOTO「結」 090(4201)0086 内田
	31(火)～ 11/5(日) 第70回三鷹市市民文化祭 美術展 観覧時間:10:00～18:00(最終日は16:00まで)	第1・2展示室 無料	市芸術文化協会・三鷹市・市教育委員会 三鷹市美術連盟 0422(32)0236 尾本
11月	14(火)～ 19(日) 第70回三鷹市市民文化祭 書道展 観覧時間:10:00～18:00(最終日は16:00まで)	第1・2展示室 無料	市芸術文化協会・三鷹市・市教育委員会 三鷹市新書道連盟 090(7175)5824 野水
	29(水)～ 12/3(日) ポーセリンペイント作品展 観覧時間:10:30～17:30(最終日は15:00まで)	第1・2展示室 無料	金井絵付教室 0422(44)1302 金井

企画展示

さよならだけが人生だ

— 太宰治、林芙美子へ、井伏鱒二の言葉

太宰治展示室
三鷹の此の小い家

休館日 10月2、10～12、16、23～27、30日

11月6、13、20、27日

観覧時間 10時～18時 観覧無料

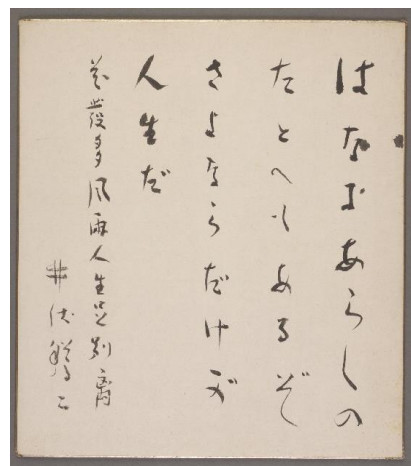
12月3日(日)まで開催中

太宰治(1909-1948)の依頼で『ヴィヨンの妻』初版の装幀・扉絵を手掛けた、「放浪記」で名高い作家 林芙美子(1903-1951)。太宰が中井(現 新宿区林芙美子記念館)の芙美子邸を訪れた日の出来事は、『太宰治との七年間』に堤重久が記しています。また、昭和23年(1948)に発表した「眉山」では、知人の男性洋画家を「林芙美子先生」と紹介する場面があります。文壇の大先輩の名を、職業も性別も全く異なる設定で用いた大胆不敵な創作に、太宰独特のユーモアと、芙美子への親しみが感じられるでしょう。

直接的な交流の機会こそ少なかった2人ですが、芙美子が慕った作家が井伏鱒二(1898-1993)で、太宰が肉親同様に世話になった師でもあります。太宰は昭和5年から師事していますが、井伏と芙美子は既にその数年前から交流を育んでいます。井伏は芙美子を旅に誘い、芙美子を「旅人で 詩人で 傑作書きで」と親しみを込めて表しています。

昭和23年(1948)6月に太宰が、その3年後に芙美子も急逝。その作家人生はまさに、芙美子が好んでよく認(した)ためた「花のいのちはみじかくて 苦しきことのみ多かりき」を体現するかのようには、はかなきものでした。そして、芙美子との旅の道中に「さよならだけが人生だ」という訳詩を生んだ井伏は、数々の別離(「さよなら」と向きあいながら、95年の天寿を全うしました。

本年は林芙美子の生誕120年。井伏鱒二の言葉を鍵(キーワード)に、太宰と芙美子の交流を振り返ります。会期中、林芙美子生誕120年記念スタンプラリー(新宿区と協働イベント)を開催しています。奮ってご参加ください。



井伏鱒二色紙 制作年不詳 津島家寄託



・この催し物案内は、2023年9月20日にとりまとめたものです。内容、期間、時間、入場方法等は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・各催し物の詳細については、主催者までお問い合わせください。